

東部地区NEWS

つつじヶ丘駅及び柴崎駅周辺にある5箇所の踏切は、ピーク時1時間あたりの遮断時間が40分以上のいわゆる「開かずの踏切」となっています。

そのため、周辺地域において、交通渋滞の発生や地域の分断、踏切事故の危険性など、市民の日常生活に支障を及ぼしています。

このような中、令和3年度に、踏切道改良促進法に基づき、つつじヶ丘駅及び柴崎駅周辺にある5箇所の踏切が「改良すべき踏切道」として指定されました。これを受け、市は、東部地区における交通環境改善の取組の推進について、連続立体交差事業の推進や駅周辺における利便性の向上、歩行者・自転車の安全確保など、交通環境の改善の検討や、関係機関との協議・調整に取り組んでいます。



開かずの踏切解消促進協議会

つつじヶ丘駅及び柴崎駅周辺の開かずの踏切解消の早期実現を目指し、あわせて鉄道沿線のまちづくりを促進していくことを目的として、地域住民、市議会、市が一体となった「京王電鉄京王線(つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区)開かずの踏切解消促進協議会」が令和7年1月21日に設立しました。

その後、促進協議会は令和7年2月20日に東京都に対して要請活動を実施しました。この要請活動では、東京都に対して、交通環境改善に向けた検討状況や周辺のまちづくりの取組を説明の上、財政面及び技術面における支援を強く訴えかけました。

今後も、適時適切なタイミングで関係機関へ要請活動を進めて参りますので、引き続き会員の皆さまのご協力をお願いいたします。



開かずの踏切解消促進協議会設立総会



東京都への要請活動の様子

(左から) 林明裕都議会議員、井上耕志調布市議会議長、中嶋義雄都議会議員、谷崎馨一東京都技監兼都市整備局長、長友貴樹会長、尾崎大介都議会議員、遠藤衛副会長

※記載の役職は、令和7年2月20日時点です。



報告書をとりまとめました

市は、令和4年度から連続立体交差事業調査を実施し、令和5年度からは、学識経験者、京王電鉄株式会社及びオブザーバーとして国や東京都を交えた検討会において、踏切対策に関する技術的な検討を進めて参りました。

この度、市は、検討会のご意見を踏まえた報告書を取りまとめましたので公表します。



開かずの踏切対策について
(調布市HP)



オープンハウスを開催します

検討会のご意見を踏まえた報告書について、地域の皆さまへ説明するため、以下の日程及び会場でオープンハウスを開催します。説明パネルを展示し、市職員が対面形式で応対します。

※ 時間内であれば、ご自由に出入りできます。いずれの日程も同じ内容です。

日 時	会 場
令和7年11月13日(木) 18:30~20:30	神代出張所 (東つつじヶ丘1-3-16) ※令和7年6月2日に移転しました
令和7年11月14日(金) 17:30~19:30	市民大町スポーツ施設 体育館 (菊野台3-27-40)
令和7年11月15日(土) 10:00~12:00	市民大町スポーツ施設 体育館 (菊野台3-27-40)
令和7年11月16日(日) 10:00~12:00	神代出張所 (東つつじヶ丘1-3-16) ※令和7年6月2日に移転しました



今後の動き

市は、引き続き、関係機関等との協議・調整を行い、東部地区の交通環境改善に向け、連続立体交差事業の推進と道路整備に取り組んで参ります。